

# 平成28年度 事業計画案

自 平成28年4月 1日  
至 平成29年3月31日

二度にわたって激しい揺れに見舞われた熊本地震は熊本城の被害に象徴され、生々しい瓦屋根の崩壊写真が晒されることとなりました。我々は突き付けられた現実を目を背けてはならないと考えます。業界関係者の調査によれば、ガイドラインに即した工法で施工された瓦屋根には被害が極めて少ないとされますが、風評は免れません。

本年度事業では熊本地震被害への適切な救援、応援を行うとともに、屋根被害の状況調査を実施し、是は是、非は非として着実に冷静な技術・検証を行い、施工技術の向上に結び付けていく必要があります。

この災害を受けるまでもなく業界を取り巻く環境は厳しいものがあります。状況に対応し、「軽い屋根より丈夫な家を」とのタイトルでリフォーム市場も視野にした活動を展開し、業界の存続、加盟工事店の業務内容の健全化を図り、経営安定に資する事業を着実に推し進めていきたいと考えます。

具体的な活動や派生する事業展開には加盟単位組合や、各ブロックに実施を委ねる部分が大きく、組合役員各位及び加盟工事店が問題意識を共有し、危機感をもって取り組まれることが望まれます。

## 主な事業計画案

### (1) 【指導委員会】

1. 各ブロック及び単位組合の災害対策組織の見直しと、模擬訓練の実施等によって業界団体としての社会的認知度向上事業の実施。
2. 「軽い屋根より丈夫な家」キャンペーンを展開し、瓦屋根の利点・欠点を加盟工事店自らが正しく理解し、対外的な働きかけを実施。
3. ゼロエネルギー住宅“ZEH”（ゼッチ）政策の周知とその対策を学習し、加盟工事店の業務の拡充を図る。

### (2) 【技術委員会】

1. 施工技術の向上に資する各種事業の実施。
2. 熊本地震の被害調査、ガイドラインに即した工法の実証調査と対応等の提言。
3. 施工人工調査の為に配布した積算エクセルシートの追跡調査と活用促進。

### (3) 【安全対策委員会】

1. 加盟工事店の安全作業推進に資する各種事業の実施。
2. 事故率低減数値目標の設定と啓蒙活動。
3. 全瓦連各種保険の加入率向上、数値目標の設定と働きかけ。
4. 安全カレンダーの作成と販売促進。

### (4) 【PR委員会】

1. 加盟工事店の販売促進に資する事業の展開。
2. 日本の瓦屋根施工技術のユネスコ無形文化遺産登録推進。
3. 報道機関へ全瓦連事業の広報活動。